

あま市都市計画マスタープラン及び緑の基本計画

第 4 回策定委員会での指摘事項について

第 4 回策定委員会での指摘事項についての対応

【質疑・応答】

	内 容	回 答 (事務局)	対 応 (案)
1	<ul style="list-style-type: none"> ・人口フレームについては、次回の委員会にて提示する旨、ご説明を頂きました。人口フレームでは、将来の人口規模を想定したうえで、現状で市街地が足りなければ、新たに市街地を拡大していくことになります。そのため、新たなフレームがどれだけ必要かはっきりさせなければ、拡大する市街地がどれだけ必要かも分からないと思います。 ・本日ご説明頂く地域別構想においても、新たな市街地候補を示して頂くこととなりますが、そもそも拡大する市街地が必要かどうか整理されないうちに先に進んでも、手戻りになる気がします。検討中であると思いますが、ある程度検討の状況を説明した上で、本日の議題を進めた方が良いのではないかと思います。 <p>【小井手委員】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・詳細については次回の委員会にてご説明致しますが、住宅用地フレームについては、愛知県方式で検討を進めています。前回お話しさせて頂きましたが、将来人口は総合計画の約 9 万人を採用して計算しているところです。状況では、将来都市構造図の市街地検討ゾーンの面積と、人口フレームにより新たに必要になる面積は、概ね整合がとれている状況です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅用地フレームについて、修正を行いました。 <p>【資料 2 P3-4】 【参考資料①】</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> ・総合計画の将来人口を採用した人口フレームで拡大する市街地は、本日提示する内容と概ね整合がとれているとの認識でよろしいでしょうか。【小井手委員】 	<ul style="list-style-type: none"> ・その通りです。 	—
3	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的には参考資料①の 3-9 ページの市街地検討ゾーンが、人口フレームに則って拡大していく部分という認識でよろしいでしょうか。【嶋田委員長】 	<ul style="list-style-type: none"> ・その通りです。 	—

(1) あま市都市計画マスタープランについて【資料2】

【質疑・応答】

	内 容	回 答 (事務局)	対応 (案)
1	<p>・4-16 ページでご説明頂いた、名古屋鉄道津島線と(都)名古屋環状2号線との交差点の立体化についてです。どちらが高架になるのか分かりませんが、名古屋鉄道との交渉がうまくいっていないと聞いています。当該交差点部は交通量が多く、日常生活に負担がかかっています。今回の記載を踏まえ、少しでも早く改善して頂ければと思います。【村上委員】</p>	<p>・ご指摘いただいた通り、都市計画決定されてからも何十年も経過していますが、事業は進んでおりません。これまでの都市計画マスタープランでは、「鉄道の高架事業」として記載しておりましたが、整備が進まない中で、数年前に国の踏切改良計画の対象になりました。</p> <p>・名古屋鉄道津島線の高架化については、時間と費用がかかることから、鉄道・道路のどちらが高架化するかは、一旦保留にしたうえで、「交差点の立体化」といった記載をさせていただきました。当該交差点部はかなり渋滞が激しいこともあり、市としても、どんな形式でも良いので渋滞解消が出来るような整備を行ってほしいと、国や名古屋鉄道に働きかけております。</p>	—
2	<p>・下が(都)名古屋環状2号線で、上が名古屋鉄道津島線となった場合、スペース的に可能なのでしょうか。【嶋田委員長】</p>	<p>・都市計画決定では、下から(都)名古屋環状2号線、名古屋鉄道津島線、高速道路になっており、スペースはあると聞いています。</p>	—
3	<p>・立体化する場合、どちらが上になるか決まっていれば、その内容を記載しても良いのではないのでしょうか。【嶋田委員長】</p>	<p>・都市計画決定上は名古屋鉄道が上ですが、協議の中で道路を上にするという話も出てきています。そのため、どちらが上になるか明確な表現はしていません。</p>	—

	内 容	回 答 (事務局)	対 応 (案)
4	<ul style="list-style-type: none"> 当該交差点部については、都市計画決定上、名古屋鉄道津島線が上になるとのことですが、どのあたりから高架化するのでしょうか。【嶋田委員長】 	<ul style="list-style-type: none"> 原則として、市街化区域内については鉄道が上で道路が下ということになっています。従って踏切を全てなくそうとすれば、市街化区域内は全て鉄道が上になります。 一方で、これらはあくまで都市計画決定上の話であり、事業が進まない現状としては、現状資料のような軟化した表現としています。 	—
5	<ul style="list-style-type: none"> 国の緊急対策の踏切は、当該交差点の1カ所のみでしょうか。【嶋田委員長】 	<ul style="list-style-type: none"> あま市内ではそうです。近隣では清須市にあり、名古屋鉄道が立体交差化し、土地利用が進んでいます。 	—
6	<ul style="list-style-type: none"> 施策の優先順位はつけられないのでしょうか。【小林委員】 	<ul style="list-style-type: none"> 重点施策が概ね10年で進めていかなければならない施策になります。例として4-20ページでご説明すると、市街地の拡大といった施策が重要であり、面的な施策に合わせて道路等の線的な施策も記載しております。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域別構想の重点施策図について、施策の優先性等を精査し修正しました。【資料2 P4-19, 4-37, 4-55】
7	<ul style="list-style-type: none"> 簡単に順位付けできるとは思いませんが、10年も経過すると新庁舎建設や人口減少が進行もあると思います。それらを踏まえつつ緊急性がある施策が示された方が良いのかなと思います。【小林委員】 		
8	<ul style="list-style-type: none"> 施策において「検討」と表現されていると、あまり事業が進まないイメージがあります。小林委員のご意見にあったように、本当に重点的に進めたい施策は「推進」や「向上」などの表現に見直した方が良いのではないのでしょうか。【嶋田委員長】 	<ul style="list-style-type: none"> 承知しました。 	

内 容		回 答 (事務局)	対 応 (案)
9	<ul style="list-style-type: none"> 4-31 ページの都市基盤に関する課題の中では、人口が 35%減少する旨の記載があります。一方で、その下部には都市基盤整備の推進に関する記載があります。この2つの記載には矛盾があると思います。 35%の人口減少に関する推計値は、国立社会保障・人口問題研究所に基づくものですので、市の総合計画の推計値に基づく記載に見直した方が良いと思います。【小井手委員】 	<ul style="list-style-type: none"> ご指摘頂きましたとおり、3地域に分けると特に西部地域の人口減少が顕著に表れてしまっていますが、一方で本地域には新庁舎が含まれておりますので、基盤整備は推進していきたいと考えています。 表現方法については、今後検討させていただければと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> 人口に関する記載を修正し、人口減少が見込まれる一方で、本計画の目標人口達成に向けた取組が必要である旨を記載しました。 【資料2 P4-11, 4-29, 4-47】 各地域の現況で示している人口推移予測では、現在のままで推移した場合の推計値であることを加筆しました。 【資料2 P4-3, 4-21, 4-39】
10	<ul style="list-style-type: none"> 地域分けについて、例えば東部地域は甚目寺地域と表現したほうが分かりやすいとは思いますが、東部地区の境界は旧甚目寺町の境界とあっていないのでしょうか。【小井手委員】 	<ul style="list-style-type: none"> 参考資料①の2-2ページをご覧ください。東部地域の境界は、旧甚目寺町の境界とほぼ同じです。一方、西部地域と南部地域の境界は、旧町の行政界と一致していませんが、県道を基準に境界を設定しています。 	—
11	<ul style="list-style-type: none"> 地域の境界は、これで良いのでしょうか。【嶋田委員長】 	<ul style="list-style-type: none"> その通りです。 	—
12	<ul style="list-style-type: none"> 各地域で市民意識調査の結果が図で示されています。この図について、満足度の平均値を示す赤線が、甚目寺地区では3.2、美和地区では2.6などと地域ごとに異なっており、地域間での比較がしづらいため、市の平均値を用いて統一したほうが良いのではないのでしょうか。【嶋田委員長】 	<ul style="list-style-type: none"> 承知しました。表現を見直します。 	<ul style="list-style-type: none"> 重要度・満足度の軸に市平均を追加し、個別の項目でも市平均と比較できるように図を修正し、コメントの加筆修正も行いました。 【資料2 P4-10, 4-28, 4-46】
13	<ul style="list-style-type: none"> 図中に「分かりやすいハザードマップの作成」とあります。今年配布された新しいハザードマップは、このアンケート結果を踏まえて作成されたのでしょうか。【河竹委員】 	<ul style="list-style-type: none"> ハザードマップの更新は、このアンケート結果を踏まえたものではありません。 	—

内 容		回 答 (事務局)	対 応 (案)
14	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行者ネットワークの形成について、具体的なイメージを教えてください。【小林委員】 	<ul style="list-style-type: none"> ・人が歩く部分のハード的な整備を想定していますが、ハード整備は難しい面もありますので、例えば萱津用水の上を利用するなど、既存のネットワークを活用しながら、安全な歩行者空間のネットワークづくりをしていければと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行者ネットワークの形成に関して、全市的な取組として全体構想 P3-18「エ. 安全・快適な歩行空間づくり」に方針を記載しています。 ・津島街道など歩道のない主要道路に関しては、箇条書きの2番目に“…主要な生活道路では、歩車分離のほか、通過交通を排除する交通規制の運用、自動車の速度を低減する狭さくの設定等、「クルマ優先」から「ひと優先」へのシフトを目指した取組みに努める。”としています。
15	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的には路側帯ではなくて、歩道として考えているのでしょうか。【小林委員】 	<ul style="list-style-type: none"> ・原則はそうですが、難しい面もありますので既存のものを利用させていただきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一方、防犯に関する方針は記載がありませんでしたので、追記しました。 【資料2 P3-18】
16	<ul style="list-style-type: none"> ・4-17 ページで甚目寺観音から萱津神社を結ぶ旨の記載がありますが、具体的には甚目寺観音の東門前から橋のほうに向かっていくイメージでしょうか。【小林委員】 	<ul style="list-style-type: none"> ・イメージとしてはそうです。 	
17	<ul style="list-style-type: none"> ・この通り（津島街道）は、道幅は広いのですが、歩行者の安全に着目すると歩道がないため安全とは言えず、一本裏の通りを通行しようとする、そこはそこで暗くて危険です。防災だけではなく、防犯の視点からも歩行者ネットワークを検討しても良いのではないのでしょうか。【小林委員】 	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。まちの現状を踏まえて計画を策定していければと思います。 	

(2) あま市緑の基本計画について【資料3】

【質疑・応答】

	内 容	回 答 (事務局)	対 応 (案)
1	<ul style="list-style-type: none"> 3-5 ページの緑の将来像図において、都市計画マスタープランの産業誘導候補地と整合を図ったほうが良いと思います。 また、4-1 ページの基本方針1は防災に関する内容であると読み取れますが、施策の方向性等をみると、生物多様性等に関する記載があります。内容の繋がりをみると、課題の環境・防災から、基本方針1が出てきています。基本方針1の中で、生物多様性に関する内容を追加したほうが良いのではないのでしょうか。【稲吉委員】 	<ul style="list-style-type: none"> 3-5 ページに関するご指摘についてです。産業誘導候補地について、都市計画マスタープランの中では、市街化区域の編入まで想定しておりません。そのため、3-5 ページにおいては、グリーンベルト(農地の保全)のままにしています。 4-1 ページの基本方針1については、検討します。 	<ul style="list-style-type: none"> 緑の将来像図に、都市マス土地利用構想図の既存工業地・産業誘導候補地を図示しました。【資料4 P3-4, 3-5】 (※関連して、P4-12 緑化重点地区の図も修正) ご指摘の趣旨を踏まえ、基本方針1の文言を修正しました。【資料4 P3-2, 3-3, 4-1, 4-2】
2	<ul style="list-style-type: none"> 産業誘導候補地について、緑の基本計画において保全を位置付けておきながら、工業を誘導するのは、整合が取れないと思います。【稲吉委員】 	<ul style="list-style-type: none"> 位置づけを再度検討します。 	
3	<ul style="list-style-type: none"> 4-7 ページにインクルーシブパークの記載があります。ここでは障害のある子どもだけでなく、外国人の方などにも配慮する記載のほうが、多様な市民ニーズへの対応が表現できるのではと思います。【小林委員】 	<ul style="list-style-type: none"> 承知しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ご指摘の趣旨を踏まえ、文言を修正しました。【資料4 P4-7】
4	<ul style="list-style-type: none"> 3-6 ページの目標値「緑の満足度」について、満足な方の割合が30%というのは決して高くなく、目標値としてはあまり相応しいと思えないため、不満な方の割合を減らすという考え方もあるのではないのでしょうか。 また、目標値「緑地の割合」について、先ほども産業誘致の話もありましたが、本当に維持できるのか疑問です。内水・外水ハザードマップでは、市内の広範囲に浸水区域が広がっていました。4-4 ページに「グリーンインフラによる防災・減災の強化」と記載されていますが、グリーンインフラを維持していくことは非常に重要であると思います。【嶋田委員長】 	<ul style="list-style-type: none"> 承知しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 目標値「緑の満足度」について、“不満と感じる回答者の割合”に修正しました。【資料4 P3-6】